

国内初 ドローンによる収穫木確認の実証試験 — 間伐後の森林でドローンによる計測を行います —

今年度、信州大学 山岳科学研究所の加藤正人教授に依頼をしている、長野県民有林初の普及型ドローンと航空レーザデータを活用したスマート精密林業計測による安全で高精度の全数木調査での間伐計画立案と間伐後の省力化実証研究について、間伐後の森林を調査するためドローンによる計測を行います。

1 日 時

平成 29 年 10 月 15 日（日） 午前 10 時から（1 時間程度）

2 場 所

伊那市長谷浦（別添資料 有）

3 実証試験概要

長野県では森林調査や収穫木の確認と検査に多大な労力を要しており、解決すべき大きな課題となっています。そこで、ドローンによる収穫木の自動抽出技術を開発することで、生産現場での省力化と収穫木の確認精度の向上、林業の成長産業化に貢献することを目的としています。

4 その他

荒天によりドローンが飛行できない場合は、延期となります。

天候に左右されるため延期等の判断は直前になる可能性があります。見学、取材をご希望される方は、耕地林務課（ktr@inacity.jp）へ所属、氏名、電話番号、メールアドレスをお知らせください。延期等の情報をご連絡いたします。

添付資料 有 無

農林部 耕地林務課 林務係
（課長）柿木 淳一（担当）長澤 綾
電 話：0265-78-4111（内線）2416
F A X：0265-72-4142
E-mail：ktr@inacity.jp